



荒尾市の取り組みと

お金の使い方

～平成 29 年度当初予算特集～

平成 29 年度 当初予算

206 億 4 千万円

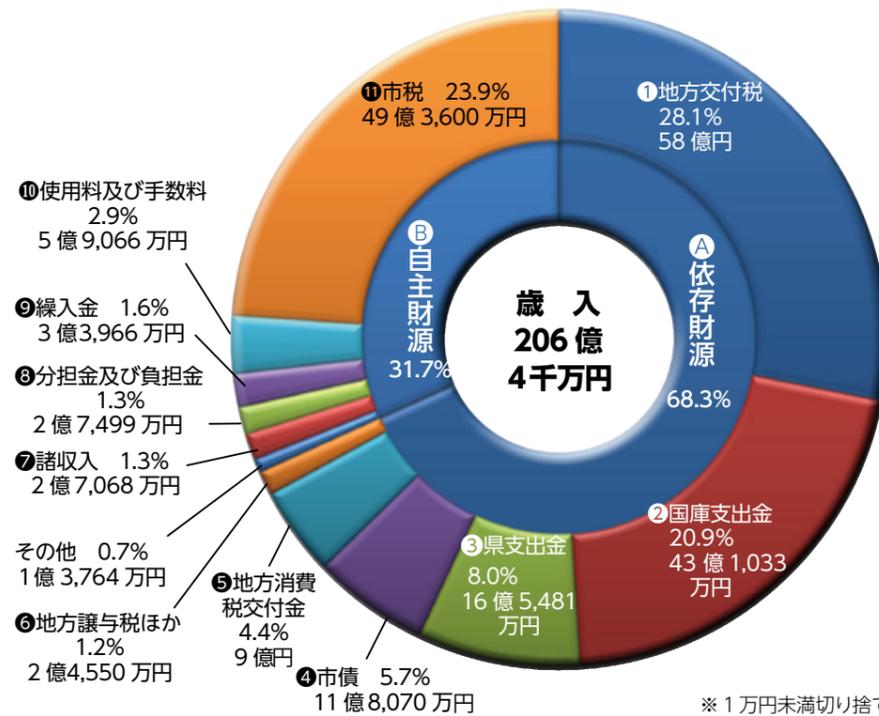
[前年比 2 億 4 千万円 (1.2%) の増]

※市の会計は一般会計・特別会計・公営企業会計の3つからなります。平成 29 年度一般会計では義務的経費、経常的経費や継続事業を中心に骨格予算として編成しました。新規事業や政策的判断が必要な経費(肉付け予算)は今後の補正予算で計上予定です。ただし、国県補助金の申請時期、事業の準備や工期などの都合により、当初予算で措置しなければ事務が執行できないものは計上していません。

一般会計歳入予算

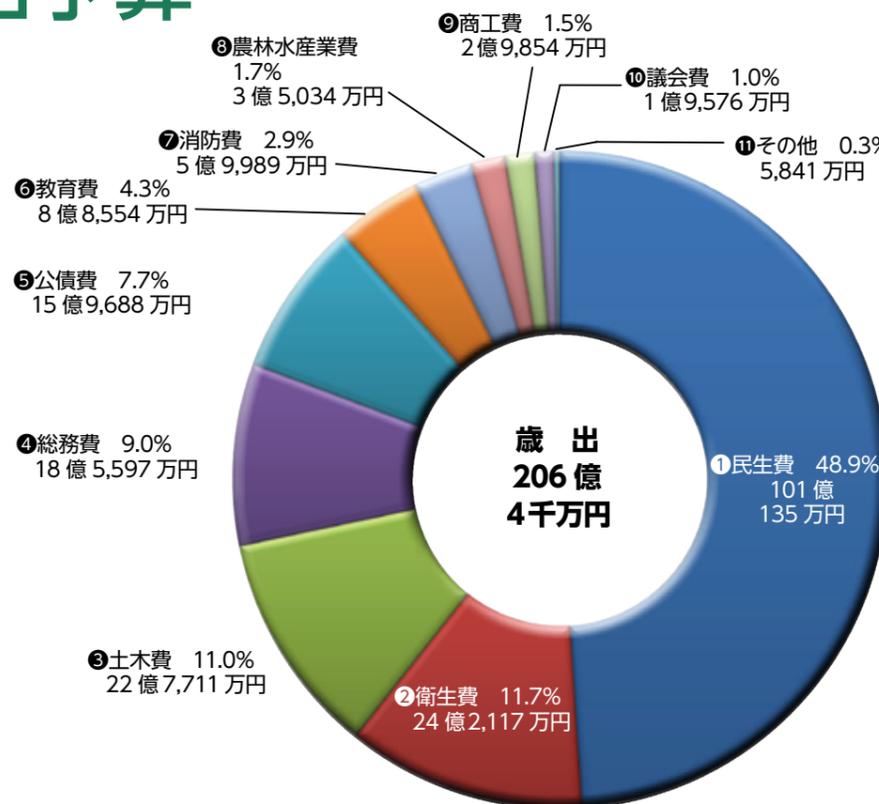
- ①地方交付税…地方自治体間の財政力の不均衡を是正するため、国税の一部を一定の基準で国が配分するもの
- ②③国庫(県)支出金…特定の事業を行うために、国や県から交付されるお金
- ④市債…大きな事業を行うときに国や銀行から借り入れるお金
- ⑤地方消費税交付金…地方消費税を財源として交付されるお金
- ⑥地方譲与税ほか…地方揮発油税・自動車重量税などの国税を一定の基準で国が分配するもの
- ⑦諸収入…貸付金元利収入や受託事業収入など
- ⑧分担金及び負担金…保育事業など特定の事業に充てるため、その事業で利益を受ける人から徴収するお金
- ⑨繰入金…基金(市の貯金)などから繰り入れるお金
- ⑩使用料及び手数料…施設の使用料や住民票など証明書の交付にかかる手数料など
- ⑪市税…市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税、市の財政上最も重要な財源

- Ⓐ依存財源…国や県によって額が決められ、交付されたり割り当てられるお金
- Ⓑ自主財源…市が自主的に収入にすることができるお金



一般会計歳出予算

- ①民生費…市民の社会生活を保障するための経費。保健・福祉分野に使用
- ②衛生費…市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための費用。環境・保健分野に使用
- ③土木費…道路・公園・港湾・市営住宅などの維持や建設に使用
- ④総務費…市の全般的な管理事務経費
- ⑤公債費…市の借金を返済する経費
- ⑥教育費…幼稚園、小・中学校教育、社会教育やスポーツ振興の教育分野に使用
- ⑦消防費…消防・水防・災害対策や救急活動などに使用
- ⑧農林水産業費…農林水産業の振興などに使用
- ⑨商工費…商工業の振興や観光事業に使用
- ⑩議会費…市議会運営に使用
- ⑪その他…労働環境の維持改善や災害復旧に使用



歳入の要点

市税収入では、個人市民税、たばこ税などの減収などにより、市税全体として減収を見込んでいます。地方交付税については、平成 29 年度地方財政対策の状況やこれまでの実交付額を参考にしながら、5 千万円の減額を見込んでいます。国・県支出金・地方債については、平成 29 年度予算編成と補助基準改定状況並びに地方債計画を検討し算定しましたが、通常収支に係る地方一般財源不足対応として発行する臨時財政対策債は、6 億 7 千万円を計上しています。また、基金繰入金につきましては、財政調整基金 1 億 7,940 万円を計上しています。

歳出の要点

財政健全化の堅持を大前提にし、緊急性や効果なども考慮しながら、優先順位を付けて配分しました。民生費は、若い世代が安心して子育てができるよう、成長に応じた保健、医療、福祉、教育などの連携体制を強化し、切れ目のない継続的なフォローを実施していきます。また、巡回相談支援事業を、

小中学生まで拡充し、発達障がいやその疑いのある子どもに対する積極的な支援を行います。衛生費は、「荒尾市健康増進計画(第2次)」に沿って、乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに沿った「健康づくり」の取り組みを、地域や団体などと連携して進めていきます。

土木費の道路の整備につきましては、引き続き都市計画道路である中央野原線の整備、万田田添線、西原桜町線や川後田府本線の道路改良、舗装改修では大谷長洲港線、貝塚本村線や今年度から増永7号線を追加し、整備を行います。

総務費は、社会問題化している空家の利活用について、空家バンク制度を活用し、空家のさらなる流通を促します。また、移住希望者への支援、情報発信の充実、お試し暮らし体験住宅の活用など、本市の住みやすさを体感してもらうための取り組みを推進します。

教育費は、小中学校教室用エアコンの整備に向けて調査検討を行っています。また、小学校給食費の無償化については、実施方法の細かな検討を行い、平成 29 年度下半期を目途に実施します。